

地域・職域連携ってなあに？

近年は、高血圧や心臓病などの生活習慣病が増加し、また、職域には過重労働やメンタルヘルスなどの健康課題もあります。

これまで、地域保健は主に乳幼児から高齢者までの地域住民を対象に、職域（産業保健）は働く人を対象に様々な保健サービスを提供してきましたが、根拠となる法令によって、サービスの目的や対象が異なっていたり、制度間のつながりがないために、継続した健康管理が難しい状況にありました。一生涯を通じて途切れることのない健康管理・支援が行えるように、地域保健と職域保健の連携が注目されています。

地域保健と職域保健が連携すると、どんなメリットがあるの？

- ◇生涯を通じた継続的な健康支援を受けることが出来ます。
- ◇健康問題に沿った幅広い対応ができ、受けられるサービスも増えます。

地域・職域連携ってどんなことをするの？

- ◇この地域にどのような健康問題があるか調査します。
- ◇いろいろな健康に関する情報を提供します。
- ◇地域保健と職域保健が連携して保健事業を行います。

この地域（豊橋市・豊川市・蒲郡市・田原市）では、地域・職域連携推進協議会を立ち上げて、連携の推進に取り組み始めています。取り組みのひとつとして、事業所の皆様に健康に関する情報をホームページ等を利用して提供していきます。

